

磐城時報

日七十二
印刷所 加納印刷所
印刷人 岡田弘成
印刷部 加納印刷所
發行所 磐城時報社
社址 磐城 本町二丁目
電話 二二五五
廣告料 一行二十字五十五銭
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

江名漁港と水道 盛大な竣工式

來賓四百余名を招く 江名町空前の賑はひ

石城郡江名町の生命線である沿道に装飾し海上からは土水道並に同町の心臓部である全船が満ち溢る盛大な竣工式が、江名町に於ける縣營築港水道中の作漁港修築竣工式として、町が招いた。竣工式は、今二十七日午前十一時、江名町に於ける縣營築港水道中の作漁港修築竣工式として、町が招いた。竣工式は、今二十七日午前十一時、江名町に於ける縣營築港水道中の作漁港修築竣工式として、町が招いた。

江名の漁船難破し 乗組員生死不明

大破した船体が 鹽屋崎に漂着

二十六日午前四時ごろ石城町加藤長一所所有の長勢丸が、鹽屋崎に漂着した。乗組員は、船が沈没したと見られるが、生死は不明である。

公園の断崖から 少女墜落して重傷

平町木村町鈴木板金店善八検査を受ける運びとなつた長女鈴木さとし(八)さん。公園の断崖から墜落し、重傷を負った。

江名漁港

中作漁港は工費廿二萬五千圓を投じ昭和九年竣工。防波堤を築き、水深三米の港を完成させた。

磐城高女校 修學旅行通信

第一信 四月二十三日
待ちに待った修學旅行！
皆張り切つた若駒のやうに、元氣を漲らせ、多くの人々に見送られて、出発する。

永山小平氏 大本山より表彰

平町三丁目永山小平氏は、素行が篤く、家運の隆昌を圖つた。大本山より表彰された。

江名水道

竣工した江名水道は、雨水利用の水道で、全長一、一五三、四四〇メートル、昭和九年十月竣工。

酒の逃避行

折木にて
馬目雅治
酒の逃避行。折木にて、馬目雅治。

人力車体検査

四倉署に於ては、今二十七日午前十一時より同署管内の人力車体検査を同署廣場に於て行なつた。

小名濱の 慶徳丸救はる

二十五日午後四時頃石城郡小名濱町字橋本政次郎所有の慶徳丸一八トンは、石城郡塩屋崎に沈没した。

皆さん。此度始めて

世に王屋石鹼を

御使用下さい。御願致し

御試用下さい。王屋石鹼を

質よく泡立よくて……

皆々様の御経済につくします

御用命は最寄の販賣店へお願致します
若し品切の節は、お電話にて馴染の弊店へ
御用申付け下さい

三井完全飼料
王屋石鹼(濱三郡)販賣元
フリーゲ

菅本飼料店

平町二丁目 電話五九六番

理髮 東京

親切は「理髮・東京」の出発点
誠實は「理髮・東京」の生命線

特効 神経痛・リウマチス

石城郡磐崎村

白鳥鑛泉

元湯 喜樂屋

◆豆自動車支關マデ

計量の赤井鑛泉

櫻花今や爛漫の候となりました。皆々様には御座り
は御座りませうか御申上ります。萬金よりも健
康が第一です。少しでも御身體に異状がお有りの
お方は當鑛泉へ御入浴して全快なさいませ。當
泉へ御入浴の御方で全治しないお方は御座りませ
ん。云々云々も過言ではありませう。當鑛泉の効能
は痔、胃腸病、神経痛、打身、婦人病
が主なるもので如何に難症のものでも二週間位入
浴すれば大體全治致します。論より證據先づ御入
浴御試しあれ。

木賃 四十銭(ふじん付)
宿泊料 七十銭より一圓六十銭まで

鑛泉 白石屋
旅館 白石屋
石城郡赤井村大倉

◆自動車支關マデ

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎

電話 九九番

光線科

上田外科醫院

電話 二九番

入院應需

磐城名物

もちあめ

磐城名産

鰹節

平町二丁目

北海屋商店

電話三八八番

吸入用酸素素純度99%

体温器
寒暖計

秤ノ取締・鍍金・修繕致シマス

寫眞機 關内藥局
材料一式 電話四〇〇番

春の流行洋品
ワイシマツ
ソフトボーン
新柄ネクタイ
新選ショール
ハンドバツク
晴雨バラソル

ツルヤ
平町四丁目 電話一〇四

牛豚肉
平町田町
三二三屋
電話三二三番

腸胃科
胃腸病科
性胃病科
花柳病科
泌尿器病科
皮膚病科
肛門病科

松村村松
性胃病科
腸胃病科
門院醫科
(番七〇一電)町南町平

石炭
豆炭

阿部石炭店
電話三七番

耳鼻咽喉科

山内醫院
病室完備
自炊ノ便アリ
醫學士山内亨吉

北川外科
平町新川町二七
醫學博士北川芳夫
醫學士與義弘

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇し番